



熊本市 感染症発生動向調査 速報

●咽頭結膜熱(プール熱)が増えています。

今週は定点あたり2.06とまだ警報レベル(定点あたり3)には達していませんが、今年は例年より患者数が多い傾向がみられます。手洗いうがいを徹底し感染予防に努めましょう。

◆どんな病気？

アデノウイルスによる感染症で、主に5歳以下の小児に多い病気です。プール内や、タオルを共用することによっても感染するため、「プール熱」とも呼ばれます。

- ・症状………38～39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み・目やになどが3～5日続きます。
- ・潜伏期間…5～7日
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染で、とても感染力の強いウイルスです。
- ・流行期……6月ぐらいから増えてきて、7～8月に流行のピークを迎えます。

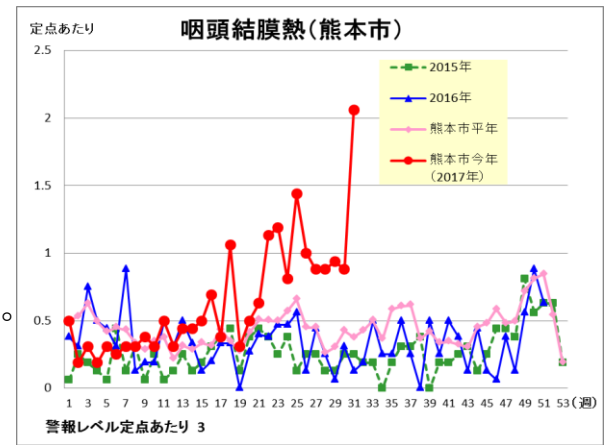


◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。
- ・ほとんどは自然に治りますが、吐き気や頭痛、せきがひどいときには早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は？

- ・手洗い、うがいが基本です。症状のある人との密接な接触は避けましょう。
- ・プールから上がったときはシャワーを浴び、目を洗い、うがいをしましょう。タオルの使い回しは避けましょう。
- ・症状のある人は、周りに広げないようにマスクや手洗いを徹底しましょう。



期 間		平成29年 30週		平成29年 31週	
		7/24～7/30		7/31～8/6(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	1	0.04	4	0.16
RSウイルス感染症	⚠️➡	12	0.75	16	1.00
咽頭結膜熱(プール熱)	⚠️➡	14	0.88	33	2.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	18	1.13	14	0.88
感染性胃腸炎	➡	58	3.63	63	3.94
水痘(みずぼうそう)	➡	10	0.63	1	0.06
手足口病	⚠️➡	154	9.63	111	6.94
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	12	0.75	7	0.44
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	83	5.19	62	3.88
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	6	0.38	5	0.31
急性出血性結膜炎	➡	1	0.20	1	0.20
流行性角結膜炎(はやり目)	⚠️➡	13	2.60	19	3.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	2	0.40	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	1	0.20	0	0.00